

## 甲斐市議会予算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 平成25年3月22日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（21名）

委員長	内藤久歳君	副委員長	斉藤芳夫君
	八代静枝君		小澤重則君
	藤田悟君		松井豊君
	清水正二君		米山昇君
	山本今朝雄君		坂本一之君
	有泉庸一郎君		長谷部集君
	三浦進吾君		猪股尚彦君
	山本英俊君		藤原正夫君
	名取國士君		小浦宗光君
	池神哲子君		保坂芳子君
	樋泉明広君		

欠席委員（なし）

傍聴議員（1名）

議長 河野勝彦君

---

### 説明のため出席した者の職氏名

建設産業部長	花形保彦君	上下水道部長	猪股兼幸君
建設課長	米山徳彦君	上水道課長	飯沼覚君
下水道課長	廣島眞君	建設管理係長	長谷川秀明君
上水道 総務係長	二宮仁君	施設管理係長	水川良一君
工務係長	三井浩君	下水道 総務係長	山田洋君
建設管理係長	長田茂君		

---

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	金丸博	書記	小澤明
書記	興石文明	書記	松井恵美

開会 午後 1時27分

○書記（小澤 明君） 改めましてこんにちは。

連日のご参集、大変お疲れさまでございます。

ただいまより予算審査特別委員会を始めさせていただきます。

まずは初めに、内藤委員長よりご挨拶をいただき、内藤委員長により議事のほうを進めさせていただきます。

それでは、内藤委員長、よろしく申し上げます。

○委員長（内藤久歳君） 改めましてこんにちは。

大変ご苦労さまでございます。

午前中の各会場の卒業式に出席いただきまして、まことにありがとうございます。私も竜王小学校に出席したわけですが、非常に厳粛な中にも感動的な卒業式だったと思います。そういう意味で、昨日教育部長のほうから報告があった件と、その落差の大きさを自分自身も感じているところではございますが、そういうことも含めまして、きょう卒業した子供たちが中学校へ行って、しっかりした人間に育っていけることを期待するところがございます。

そんなことを含めて、きょうは予算審査の最終日ということで最後の仕上げの日でございます。活発な中にも意義ある審査をしていただければありがたいかなというふうに思いますので、委員各位にもご協力をお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

よろしく願いをいたします。

ただいまの出席委員は21名です。定足数に達しておりますので、これより予算審査特別委員会を開会します。

本日の会議を開きます。

いよいよ最終日になりますが、各特別会計及び水道会計の審査を行います。限られた時間内の審査ですので、委員各位のご協力をお願いいたします。

審査に当たり、質疑は一問一答で簡潔にお願いいたします。また、当局側の答弁も簡潔に説明していただきたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

それでは、審査に入ります。

---

○委員長（内藤久歳君） 初めに、議案第32号 平成25年度甲斐市宅地開発事業特別会計予算を議題といたします。

なお、説明及び質疑は歳入歳出一括で行いたいと思います。

それでは、当局の説明を求めます。

米山建設課長。

○建設課長（米山徳彦君） よろしくお願ひします。ご苦勞さまでございます。

予算の説明に入る前に、ちょっと訂正をお願いいたします。まことに申しわけございません。

予算審議資料なのですが、39ページです。

一番下になりますけれども、南区分譲地土地保有状況、今からの予算をお願いする内容なのですが、物件数が6ではなく、4区画、それから面積は674.49です。1,046.72が間違いで、674.49平米。申しわけありません。チェックミスでございます。失礼しました。もう一度申し上げます。674.49平米です。

それでは、予算説明書のほうで355ページからになりますけれども、宅地開発事業の特別会計の説明をさせていただきます。この特別会計につきましては、南区、旧冷間区ですね、分譲地の売り払い収入に係る予算であります。先ほど申し上げた資料、予算審議資料の39ページと、予算の構成関係が載っておりますので、あわせて見ていただきたいと思います。

また、予算参考資料ナンバー6の、先ほども説明がありましたとおり、これの6ページに歳出のほうが出ておりますので、それも一緒に見ていただきたいと思います。

それでは、予算説明書360ページ、361ページの歳入からご説明をさせていただきます。

1款財産収入、1項財産売払収入、1目不動産売払収入につきましては、南区分譲地の不動産売払収入であります。

前年度の予算額4,724万3,000円に対しまして、本年度2,316万9,000円を見込んでいます。前年度と比較しますと2,407万4,000円の減額であります。南区分譲地の残りの宅地の販売につきましては、現在残っています4区画、674.49平米の分の収入を見込んでいるところでございます。

また、販売の促進に向けた取り組みにつきましては、昨年度、優先販売、それから、一般販売、優先販売は3割引、一般販売につきましては2割引というようなことの中で、広

報ホームページ等を通じましてPRに努めてまいりました。よって、8件の分譲ができたということでございます。

現在、随時受付を行っておりまして、完売に向けましてできるだけ努力したいと思っておりますが、契約の条件であります、10年間の転売禁止事項ということがうたわれておりまして、不動産会社等が購入して建売分譲をしたいという話も来ております。それで、翌年度、平成25年度に売れないということになりましたら、建設経済常任委員会とも相談をする中で、転売禁止事項、これらについて除外をして売り出したらどうかということも視野に入れながら、来年度、全て完売をしていきたいと考えております。

よろしく願いをします。

次に、3款、1項、1目の繰越金につきましては、前年度からの繰越金であります。

次に、362ページ、363ページをお願いしたいと思います。

歳出のご説明をいたします。

2款諸支出金、1項繰出金、1目一般会計繰出金の28節繰出金、2,317万円につきましては、南区分譲地の残り4区画の不動産売り払い収入を基金へ積み立てるための一般会計へ繰り出すものであります。

以上、宅地開発事業特別会計につきましてご説明させていただきました。よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に、所管の委員の質疑を行います。

所管は建設経済常任委員会ですので、よろしく願いいたします。

所管の委員の質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） なしでよろしいですか、所管は。

以上で所管の質疑を打ち切ります。

続きまして、所管以外の委員の質疑を受けます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ないですね。

以上で審査を終了します。

これより本委員会に付託されました議案第32号 平成25年度甲斐市宅地開発事業特別会計

予算について、順次、討論、採決を行います。

まず、本案に対する討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより本案について採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定されました。

なお、委員会報告につきましては、委員長にご一任願います。

ここで暫時休憩し、職員の入替えを行います。

休憩 午後 1時35分

再開 午後 1時37分

○委員長（内藤久歳君） それでは、休憩前に引き続き、会議を再開します。

次に、議案第30号 平成25年度甲斐市地域し尿処理施設特別会計予算を議題とします。

なお、説明及び質疑は歳入歳出一括で行いたいと思います。

それでは、審査に入ります。

歳入歳出一括で当局の説明を求めます。

廣島下水道課長。

○下水道課長（廣島 眞君） ご苦労さまでございます。

予算書の説明の332ページ、333ページをお開きください。

また、予算参考資料、地域し尿、8ページをお願いいたします。

それでは、歳入のほうからご説明いたします。

使用料及び手数料の1款でございます。衛生費使用料、地域し尿の施設使用料でございます。1,322万2,000円、敷島台団地、松島団地の使用料でございます。

管理財産収入、利子及び配当金でございます。4万8,000円でございます。

3款一般会計からの繰入金474万3,000円、これにつきましては職員1人を充てております。その1人分でございます。繰越金は50万円、預金利子1,000円。

335ページのほうをお願いします。雑入で1,000円でございます。

次は歳出ですが、参考資料のほうで説明させていただきます。

地域し尿の関係職員の職員費でございますが、予算額506万4,000円、内訳として、一般会計からの繰入金474万4,000円に使用料の一般財源32万円でございます。

維持管理費といたしまして、予算額1,290万3,000円でございます。内訳といたしまして、浄化センター電気、水道、それから、処理施設、浄化センターですけれども、修繕費260万円、それから、火災保険、浄化センターの保守点検委託、敷島台と松島団地それぞれあわせてまして長期契約を行います。それで670万円を計上してございます。

基金積み立てでございますが、予算額4万8,000円、予備費50万円。

10ページのほうをお開きいただきたいと思います。

予備費50万円まででございます。

以上が地域し尿の特別会計でございます。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。

所管の委員の質疑はございますか。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ないですね。

では、所管の委員の質疑を終了します。

続きまして、所管以外の委員の質疑を受けます。

質疑ございますか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 確認の意味で教えていただきたいのですが、加入世帯ですが、平成25年度の敷島団地の加入世帯数、それから松島団地の加入世帯数、平成24年度と変わりなければ。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 若干、世帯数、人数が変わっております。敷島団地においては

338戸で、食堂等が2件、プラス2件あります。340戸。それから、松島団地ですけれども、267戸で、食堂が1戸で268戸の世帯数でございます。

○委員長（内藤久歳君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） では、ついでに使用料については変わらないかどうか、教えてください。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 使用料につきましても、同じ金額で、敷島団地におきましては月1,570円、それから、松島団地においては月2,100円でございます。

○委員（樋泉明広君） はい、いいです。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 今回の02の浄化センターの点検委託のところなのですが、昨年のときに、平成24年までは2業者で、山梨水処理とアクアメンテとかとっていましたが、平成24年までと聞いていたのですが、平成25年からはどうなのでしょう。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 長期契約で、平成24年度までアクアメンテナンス、それから山梨水処理が行っております。

平成25年からは、また新たに長期契約を結びます。それで、日にちがちょうど3月31日とはさま1日では、なるべくその期間を圧縮したいということで、3月末中には業者が事前選定ができるということで、この委託料が若干金額が上がっているのは、当初見積もりをした額から下がりますので、それで若干、予算上は金額がふえているという状況でございます。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） そうすると、今から業者選定もするということですね。はい、わかりました。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） いいですか。

ないようですので、以上で審査を終了します。

これより本委員会に付託されました議案第30号 平成25年度甲斐市地域し尿処理施設特別

会計予算について、順次、討論、採決を行います。

まず、本案に対する討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（内藤久歳君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより本案について採決します。

お諮りいたします。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（内藤久歳君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定されました。

なお、委員会報告につきましては、委員長にご一任願います。

次に、議案第31号 平成25年度甲斐市農業集落排水事業特別会計予算を議題とします。

なお、説明及び質疑は歳入歳出一括で行いたいと思います。

それでは、審査に入ります。歳入歳出一括で当局の説明を求めます。

廣島下水道課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 予算書の350ページ、351ページをよろしくお願いします。

それから資料ですけれども、10ページ、11ページをお開きいただきたいと思います。

歳入でございます。

農業集落排水維持管理負担金118万7,000円でございます。これにつきましては、農業集落排水設備の甲府市からの補助金といったところで、甲府市の要綱でございます、委託料の2分の1でございます。

款2 使用料及び手数料でございますが、集落排水の使用料でございます。125万円。農業集落排水設備には、37戸の世帯数の皆さんが加入しております。その使用料でございます。

繰入金、一般会計から968万6,000円を繰り入れております。事務費の繰入金並びに公債費の繰入金が主な部分でございます。繰越金1,000円、雑入1,000円でございます。

続きまして、歳出の10ページのほうをお開きいただきたいと思います。

農業集落排水設備の維持管理事業といたしまして、予算額438万円でございます。

内訳といたしまして、浄化センターの電気水道料、それから、処理施設の修繕等でございます。

それから、1番最後の管渠清掃委託と浄化センターの保守点検、合わせまして257万5,000

円を計上しております。

公債費でございます。500万6,000円、農集排の元金でございます。利子につきまして263万9,000円の公債費でございます。

予備費におきましては10万円ということでございます。

よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を受けます。

何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、これで所管の委員の質疑を終了します。

続きまして、所管以外の委員の質疑を受けます。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません。農業集落排水の下水道使用料の件で、毎回聞いているのですけれども、これ、入のほうでは124万円ですか。未納者というのはまだありますか。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） はい、まだ1名ございます。それで、毎月入れていただきまして大分クリアできていると。期間、ちょっとこの人は、最初から非常に厳しい方でして、自分の借金のほうが大分あって、それで、個人的に電話しながら、なるべく1回分を2回払ってくれというようなことで、若干期間はかかりますが、長い目で見ていただきたいなと思います。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 確認の意味でお願いしたいのですが、平成25年度の使用料、手数料。使用料ですね。先ほど37戸ということですが、人数は百二十何人でしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 世帯数が1世帯減っております。それから、人も111名というふうに、人数が約……。

○委員（樋泉明広君） 111ですか。

○下水道課長（廣島 眞君） 111名です。

それで、使用料については1戸当たり2,100円、消費税込みで。それで人数割がありまして、1人当たり231円ということで予算計上をさせていただきます。

○委員長（内藤久歳君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 前は126人というような加入があったのですが、平成25年度は111名の予定と。15人減っていますけれども、これは家族ですから、どこかへ嫁いだりいろいろした場合には減るのだろうとは思いますが、いかがでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 去年からは、お亡くなりになった方、それから施設へ行った方、たしか2人しか減っていないと認識しております。その前は、若干お葬式があった中で、今現在111名ということでございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、以上で審査を終了します。

これより本委員会に付託されました議案第31号 平成25年度甲斐市農業集落排水事業特別会計について、順次、討論、採決を行います。

まず、本案に対する討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより本案について採決します。

お諮りいたします。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定されました。

なお、委員会報告につきましては、委員長にご一任願います。

次に、議案第33号 平成25年度甲斐市下水道事業特別会計予算を議題とします。

なお、説明及び質疑は歳入一括、歳出一括で行いたいと思います。

それでは、審査に入ります。

まず、歳入について一括で説明を受けます。

猪股部長。

○上下水道部長（猪股兼幸君） 大変ご苦労さまでございます。

この下水道事業につきましては、私のほうから若干のご説明を先にさせていただきたいと思っております。

下水道事業につきましては、昭和61年の釜無川の流域下水道計画にあわせまして、関連の公共下水道事業として昭和62年から取り組んできたところでございます。

現在、全体計画面積1,776.3ヘクタールに対しまして1,136ヘクタールを実施いたしまして、整備率につきましては64%ということでございます。たまたま今年度の事業で言いますと、今年度は合併当初からの懸案でありました、敷島地区南部の下水道の使用料の徴収の事務を甲府市の上下水道局に委託することができまして、今年からやるわけでございます。

また、昨年10月から始めました下水道の未接続世帯解消のための戸別訪問や接続工事に伴う融資あっせん要綱の緩和によりまして、使用料徴収率及び接続率の向上が、今年度は今まで以上に図られるのではないかなというように考えてございます。

平成25年度の予算額の総額は21億665万9,000円ということでございまして、昨年比で比べますと2億7,064万9,000円の減額ということでございますけれども、これにつきましては、さきの米山議員さんの一般質問でも答弁もしてございますけれども、公共下水道の建設費の減額が主なものでございます。

詳細につきましては、これから下水道課長から引き続き説明をいたしますので、よろしくお願いをいたします。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 予算書の370ページをお開きいただきたいと思います。下水道の負担金でございます。

節1 受益者負担金4,565万6,000円でございます。平成24年度に工事をいたしまして、その負担金が平成25年度に賦課されるということで、約9万5,000平米が平成24年度に工事をした部分での賦課分でございます。節2 過年度受益者負担金150万円、約4,800平米分の想定をいたしております。

次に、款2 使用料でございます。下水道の使用料4億6,952万円、1万8,500世帯の使用料でございます。節2 過年度使用料700万円、過年度の下水道の使用料でございます。想定をさせていただきます。

次の款2 手数料でございます。節1 手数料145万円、排水設備、これは宅内の下水管が通

った後の宅内の設備の確認検査の手数料でございます。1件当たり2,000円、600件を想定して120万円でございます。

それから、この宅内を行うには指定店の登録が必要になります。それで、平成25年度、約25件分の更新料を想定し、25万円でございます。督促手数料5万円。

款3でございます、下水道事業交付金でございますが、公共下水道交付金といたしまして1億1,200万円、それから、社会資本整備総合交付金といたしまして、これは耐震工事でございます。その部分の交付金が1,000万円。

次の372ページをお開きください。

一般会計の繰入金でございます。一般会計の繰入金10億6,097万8,000円でございます。職員の繰入分が8人分で6,509万9,000円。それから、流域下水道建設改良費繰入金が656万3,000円。公債費での繰入金が9億8,299万6,000円。それから、公共下水道建設改良費繰入金、これは、耐震の部分でございますが、交付金が一般会計のほうへ入りますので、その分の600万円ということでございます。

款5繰越金でございます。繰越金においては、100万円。

款6延滞金でございます。存置科目として延滞金1,000円、過料1,000円でございます。

諸収入で、節2管渠移設補償料の存置科目として1,000円でございます。雑収2,000円でございます。

それから、374ページ、市債でございます。節1流域下水道事業債、釜無川流域の下水道の事業債3,530万円でございます。節2、公共下水道事業債、甲斐市の行う公共下水の事業債として3億6,220万円を今回計上してございます。

歳入においては、以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対しての質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を受けます。

ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、所管の委員の質疑を終了します。

続きまして、所管以外の委員の質疑を受けます。

何かございますか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 7款の市債についてですけれども、平成24年度末の市債の額、平成25年度末の市債の額、これは391ページに出ておりますけれども、158億7,511万2,000円が未償還残高として残るということでよろしいですか。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） そのとおりでございます。

○委員長（内藤久歳君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 私、いつも思うのですけれども、未償還残高のこの額がふえるに従って返すのが大変になるわけでありましてけれども、今年度は繰上償還とか借りかえとか。そういった対策は考えているのでしょうか。いかがでございますか。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 率のよい繰上償還に該当すれば償還もしていきたいと。ただ、平成22年度ですか、繰上償還をした経緯の中で、利息、利子というものが下がっております。それで、毎年国のほうへ、その結果を各5年でしたか、5年間を通知をするということで、適正であるか適正でないかというところをチェックされます。今まで適正であるAというお墨つきをいただいておりますけれども、その中でさらにいい部分があれば将来的な検討を進めていくと考えております。

○委員長（内藤久歳君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） それと、ついではございますけれども、一般質問でも出ましたけれども、下水道の普及率であります。全国的には私の記憶では86%くらいですか、それで、山梨県全体では60%くらい。甲斐市は今どのくらいになっているのか、もう一度いいですか。一般質問で聞き落してしまいました。すみません。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 今年末で整備率63.9%になるはずですが、64%ということで、まだまだあと30%以上整備が残っているわけでございます。釜無流域7市町においては、そこそこ行っているわけですが、やはり集落が少ない南アルプスのような、集落が点在していて通過管が非常に多いという部分では、なかなか進まない実情があります。甲斐市においては市街化が主な部分ということで、ある程度財政からの予算配分等が大きいものがあればありがたいのですけれども、ほかの、甲斐市は下水道の事業ばかりではありませんので、その中で予算配分を受けているという状況でございます。

○委員長（内藤久歳君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） ごめんなさい。県の普及率よりも甲斐市のほうが、平成24年度末では高くなっているというふうに理解してよろしいのでしょうか。

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 質問に対して答弁をしてください。

山田係長。

○下水道総務係長（山田 洋君） 甲斐市の普及率が、先ほど課長が申し上げたとおりで、県全体ですと61.8、平成23年度末となっております。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 371ページのその社会資本整備総合交付金で1,000万円、そして、373ページの今の改良費繰入金が600万円で、1,600万円が一応耐震の予算というふうにして思っているのかなど。さっき耐震とおっしゃいましたよね、それで、これだけのお金だけではないと思うのですが、今後、全体としてはどのくらいの規模で考えているのかということちょっとお伺いしたいのです。そのうちのどのくらい、何割なのか。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 補助金の部分で1,000万円という話をさせていただきました。事業費は2,000万円、2分の1の補助金ですので、2,000万円の事業費になります。それへ市の単独費の500万円を足しまして、2,500万円の事業費と。玉幡中の今後3年耐震工事を、マンホールの受け枠防止と管の可撓化、これを行っております、引き続き玉幡中の下流域へ整備をしていきたいと。それが終わりますと、3カ所、耐震診断を行った結果で、双葉西小学校、これはもう既に2年で終わっております。それから、玉幡中、その後は、敷島の南小学校、この3路線が耐震診断を受け国の認可を得た路線でございまして、ちょっと長い時間かかりますけれども、毎年整備を行っていくということでございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

以上で歳入を終わります。

続きまして、歳出について一括で説明を受けます。

広島課長。

○下水道課長（広島 眞君） 予算書におきましては376ページ、それから、予算説明書のほうにおいては12ページからでございます。

予算資料に基づきましてご説明いたします。

下水道特別会計、総務費でございます。

総務管理費、下水道関係職員費といたしまして6,509万9,000円、下水道職員の8人分でございます。

下水道総務事務費ですけれども2,620万5,000円。内訳でございます。下水審の委員さんの報酬7万3,000円。徴収員の職員の報酬と社会保険料でございますが206万4,000円。下のほうへ行きまして、設計積算システム保守委託料及びリース料79万1,000円。

次の13ページですけれども、法令外負担金5団体28万7,000円。それから、水洗便所の改造助成金、水洗便所、くみ取り便所を改造した場合に市のほうの助成をしておりますけれども、1件7万円で6件分を想定し、予算計上させていただいております。それから、宅内排水設備の融資利子補給15万円でございますが、50件分を想定して計上してございます。消費税の納付金ですけれども、平成24年度がはっきりいたしますと、消費税を払った部分、もらった部分の差し引きでございますが、想定されるのは2,107万円を想定してございます。

次に、04受益者負担金の徴収費でございます。664万5,000円。内訳は受益者負担金の一括納付報奨金でございます。600万円を想定してございます。

それから、あとは納入通知印刷代、それから郵便料口座手数料等でございます。

05下水道使用料の徴収費でございます。4,707万9,000円でございます。

内訳ですけれども、下水道の徴収委託業務委託、使用料徴収業務委託（甲斐市上水道部分）が1件当たり350円で1万3,860世帯分、2,912万円でございます。

また、甲府市に徴収委託を平成25年の初めから始めますので、4,550世帯分で1件600円。税込でございますが、1,638万円を計上してございます。

3番目にあります使用料のデータ作成委託業務、これは、甲府市のほうから井戸水等の方は徴収いたしてくれません。また、敷島の下水においては、甲府市の検針部分、5月の検針の部分のはざまが出てきますので、その間、年度変わりの間はデータをいただくということで、118万2,000円の計上がされております。

あとは、量水器の購入、それから、過年度の還付金等でございます。

14ページのほうをお開きいただきたいと思います。

流域下水道の建設負担金でございます。4,186万3,000円でございます。

釜無流域に関する建設負担金は、甲斐市においては27.8975%を支払うと。あとは南アルプス市、中央市、韮崎市、昭和町、市川三郷町、富士川町等がその構成市町となっておりますので、それなりの27%という金額を市が納めるということでございます。

02流域下水道の維持管理費でございます。3億2,673万5,000円、これは立米当たり56円に消費税を掛けたものを、釜無流域の浄化センターのほうで水を処理しておりますので、立米56円の消費税部分が管理負担金となります。

次に、事業費でございます。

公共下水道の建設費でございますが、4億3,078万7,000円でございます。ほとんどが、4億3,000万円のうち約半分が市債、半分以上が市債、国の交付金が1億2,200万円、その他繰入金、先ほどの耐震の部分の600万円が、その他の部分の繰入金でございます。

一般財源といたしましては、受益者負担金を充てて2,458万7,000円を充ててございます。詳細につきましては、実施設計、水準点の調査委託で421万7,000円、それから、管布設の工事15路線でございますが、竜王が7路線、敷島が4路線、双葉が4路線を計画してございます。延長3,566メートルで2億8,990万円。工事費が前年より9,600万円ほど減額となっております。

それから3番目、下水道管渠耐震化工事、マンホールが13カ所、玉幡中の先ほどお話しさせていただきました2,500万円の事業費でございます。

それから、公共雨水ますの設置工事50カ所を想定し1,500万円。舗装復旧、県道の甲府韮崎線、田敷線等を含んだ中で、舗装復旧が2,337万円を想定してございます。

それから、上水道の1節補償費でございますが、先ほどの管の布設工事に伴って上水道がタッチします。その中での補償ということで7,330万円を計上してございます。

02公共下水道維持管理費でございます。3,110万9,000円でございます。内訳といたしましては、甲斐市の22カ所のマンホールポンプの電気料230万4,000円、マンホール及び公共下水道ます修繕、これは経年の修繕でございますが、128万円。それから、警報装置、マンホールポンプの警報装置66万円。下水道管内清掃委託として52万2,000円、マンホールポンプの維持管理委託22カ所で760万円。下水道マッピングシステム委託で308万7,000円。下水道の管内調査委託、カメラを中へ入れるものでございますけれども、延長7,400メートルを計画してございます。999万円。国・県道のマンホール蓋高さ調整を舗装復旧含めた中で400万円計上させていただいております。

それから、テレビカメラでチェックしたところで、急遽直さなくてはならない緊急なものがある部分での老朽化管渠更生工事を100万円計上してございます。

次の、16ページをお願いいたします。

公債費でございます。公債費の元金7億6,671万2,000円で、市債、借金の部分が8,400万円、それから、繰入金の中で、その他充てておりますが6億6,673万8,000円。それから受益者負担金が充てております一般財源1,597万4,000円でございます。

利子でございます。3億6,342万5,000円でございます。

繰入金が主な部分で、その他3億1,625万8,000円でございます。平成24年度の借入れ分の利子ということで、償還利子3億5,111万4,000円、それから平成24年度が1,108万6,000円。一借も3月から5月まで一借をいたします。その利息119万9,000円でございます。

予備費として100万円を計上してございます。

雑駁な説明でございますが、以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。

質疑はございますか。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） 所管の委員がないようですので、質疑を終了します。

続きまして、次に、所管以外の委員の質疑を受けます。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 説明書の14ページと15ページにあります公共下水維持管理費の中で、マンホールポンプ22カ所とありますが、緊急というか、警報が鳴って出動したようなことがありますか。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 真君） それぞれのマンホールポンプには、職員へ電話発報するようにセットされております。それで、ここ2年、私が下水へ来てからは、1回発報されまして、どういうわけか雨が降った中で水位が上がったと。それ以外はそんなにございません。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） あと1点ですけれども、15ページにマンホールポンプ緊急時発電機の借り上げとありますよね。これは、何台か甲斐市として下水道課としてこの発電機を持って

いるのかどうなのか。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 市のほうでは、この発電機を持っておりません。それで、緊急時にはリースで借りると。ただ、マンホールポンプ自体が一般家庭の100ボルトではございませんので、200の単相といったもので、発電機も大分大きい発電機が必要になるろうかと思えます。それで、これは2基分を計上し、あとは地震等の対応は、またその時点で計画していくと。

○委員（猪股尚彦君） はい。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） さっきの話では、6割方工事が終わっているということでしたが、その中で加入されている方は何%くらいいるのでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 普及率に関する問題ですか。加入、普及している加入世帯ということですね。

廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 75%の皆さんが加入し、25%の方が未加入の部分があるというようなことで、下水道をやりますと、宅内の設備では大体40万円ほど一般家庭にかかります。その中で接続率向上ということで個人訪問をさせていただきましたけれども、やはり、年金暮らしだから、ちょっと厳しいけれども検討しますというようなお答えをもらっている中で、また来年も啓発を進めていきたいと考えております。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 14ページですね。

皆さんが質問した中の、01公共下水のところですね、2行目、管渠布設工事15路線。3,566メートルと。例えば、下の下水道管渠耐震化工事、これは上下、例えば100メートルくらいの工事でどのくらいの予算が違うのか。それをもし、例えばどのくらいのメートル単位でいいですか、あるいは、メートルだとわからないから100メートルくらいの布設する場合には、耐震化と耐震化でない面とはどのくらい金額的に違うのか、ちょっと。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 公共下水の管渠を布設するには、これは平均的なものですが、メーター当たり8万円ほど、それへ、上水の補償をメーター当たり約4万円ほど、それで12万円、それへ舗装復旧が入ってきますが、それへ1万円足して、そうすると、8万の4万、12万、13万円、メーター当たり13万円ほどかかります。

ただ、耐震化のほうは、マンホールへ浮力防止のためにウエイト工法、重りを周りにつけてやりますから、メーター単位が出ませんけれども、マンホール1カ所を、工事をウエイト工法で工事をしますと150万円ほどかかりますので、管との比較は、ちょっと工事内容が違いますので、金額の比較ができないというところがございます。

○委員長（内藤久歳君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 耐震化を考えると、その布設にはウエイトはどういうふうな比率で考えていますか、これから。例えば、耐震化のほうを重点にしていくのか、その辺はどうか。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 今の管の布設、公共下水を布設する際には、地震に対応できるような管の布設方法をしております。ただ、マンホールの浮上といった部分では、やはり国の認可を得るという中で3路線が決定されておりますけれども、管の耐震化においてはやはり、避難場所の国のほうの指定もございまして、その中で3地区3路線といったものの中で指定されておりますので、また新しい下水道の管渠の工事においては、レベル1、レベル2といった耐震へ向けた部分で、レベル1で設計等を行っておりますので、耐震と若干ずれた中ですが、耐震に向けて検討して設置していきたいと考えております。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

名取委員。

○委員（名取國土君） 15ページで、1番上に下水道台帳のマッピングシステム委託料という、その内訳をちょっと、どういうものですか。

○委員長（内藤久歳君） 長田係長。

○建設管理係長（長田 茂君） 下水道台帳のマッピングシステムにつきましては、5年契約で長期計画で見えておまして、ことし、平成24年度で5年が終わりまして、来年度が最終年度になっておりますので、この金額の掛ける5年が長期契約の金額ということになっております。内容的につきましては、道路の下に入っている本管の距離とか管径、それからマンホールの位置、それから個人用の公共ますの位置等を電子データのほうにシステム化している

事業でございます。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） これは、5年契約で切れて、また新たに契約するときは再度入札みたいなのでやるのですか。

○委員長（内藤久歳君） 長田係長。

○建設管理係長（長田 茂君） この5年間で初期投資の構築をいたしましたので、その後につきましても、保守委託並びにデータの更新費用が年間かかってくるというふうに考えております。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） ありがとうございます。

それでは、その下のほうで、国県道マンホールますの調節で400万円載ってある。これは、この前言ったが、マンホールの嵩上げみたいなものですか。それで、これは1カ所どのぐらい盛ったのですか。幾らですか。

○委員長（内藤久歳君） 長田係長。

○建設管理係長（長田 茂君） 400万円の内訳ですけれども、国道・県道のマンホール蓋の高さ調整を10カ所ほど見込んでおりますのは200万円。それと、公共ますの設置で、県道からどうしても真っすぐ引かなければならない場合、一度仮復旧をして、その後本復旧ということで、これも4カ所ほど予定をしております200万円。合計400万円を予定をしております。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） わかりました。

では、その下の、井戸水用メーター設置及び交換工事とある、この井戸水のメーターというのを。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 下水は、水道のメーターをカウントして使用料を払ってもらっております。それで、一般家庭ですと1人当たり認定ということで、もう決まった額をもらっているのですけれども、事業場その他大きく使うような場所では、井戸水の出るところにメーター器を設置してもらって、そのメーターで下水のカウントをしているということで、計量法に基づく8年を過ぎますと交換義務がございます。その中での交換でございます。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） この金額は1カ所でどのくらいかかるのですか。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 管経によっていろいろ変わって……。

○委員（名取國土君） 大体どのぐらいで。

○委員長（内藤久歳君） 長田係長。

○建設管理係長（長田 茂君） 13ミリのメーターから50ミリのメーターまであるわけですが、13ミリが1台約4,500円、それから50ミリが7万5,000円、これに消費税と取りつけの手数料がかかるというような予定になっております。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） もう1つあるのですけれども、14ページで02で、マンホールポンプ電気料22カ所でこの金額があるのですが、この22カ所というのは全部動力ですか。100ボルトも入っているのですか。

○委員長（内藤久歳君） 長田係長。

○建設管理係長（長田 茂君） 1カ所のマンホールに対しまして、2個ずつモーターが入っております、高温運転をするようになっております。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） 交互運転ということは、動力だけで交互運転ですか。要するに2つを交互にやっているということなのでしょう。それは動力なのですか。全部ですか。100もあるのですか、100ボルトも。

〔「単相、200の単相……」と言う者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 長田係長。

○建設管理係長（長田 茂君） 200の単相と100のですね、交互に。あと、それから制御盤のほうにも電力が必要ですから、それが現況ということになっています。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） 何だかややこしいですね。100もある、200もあるということですね。それで、この電気料は大体この金額で出ているのだけれども、動力は何キロくらいのが、1個がなっているのですか。

〔発言する者あり〕

○委員（名取國土君） これ、わからんでいいよ。いいですよ。

○委員長（内藤久歳君） 廣島課長。

○下水道課長（廣島 眞君） 汚水ポンプが、先ほど長田係長が2個設置してあると。たしか1.7キロから2.5キロ。結構大きいポンプを動かしますので、100ボルトだとえらい金額になってしまいます。ということで、安い金額の電気を使っています。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國士君） わかりました。

もう1つ、ここだけちょっと細かく説明してほしいのだけれども、02の、先ほど猪股委員が言ったんだけど、マンホールポンプの警報装置電話料、22カ所で66万円。

これは、さっきの話だとそんなにないという話なのだけれども、この66万円というのはほとんど変わっていないですね。これは電話の借り上げ料も入っているのですか、全部。電話料だけでなく。

○委員長（内藤久歳君） 長田係長。

○建設管理係長（長田 茂君） マンホールポンプの66万円につきましては、電話料も16カ所の電話料が12カ月分、それも基本料金、それから携帯電話への発信料金等を含めて、この金額になります。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國士君） 66万円、何か高いような気がするんですけど。この前言ったときに、借り上げ料と言ってはおかしいのだけれども、これは発信が入る、要するに、警報が入るだけの電話で、よそへはかけられないと言っていましたね、そういう特殊なものだと。何かそんなふうな特殊な電話とかだったんだけど、向こうで警報が出たものだけを発信してこちらへ知らせるだけの電話と違って聞いたのだけれども、そういう特殊なものですか。

○委員長（内藤久歳君） 長田係長。

○建設管理係長（長田 茂君） 電話の機能はすみません、委託をかけておりますので、業者のほうで細かくは承知だと思うのですが、一応職員3名の携帯電話のほうに異常があった場合には、内容を言葉で、テープの言葉で、機械の言葉で伝えてもらう。それと、プラス委託保証をかけている業者さんのほうに直接連絡がいきます。

それで、業者さんのほうからは、電話番号をそれぞれ持っておりますので、そちらのほうへ、電話を逆にしますと、その内容によりけり、警報を、誤作動の場合もありますので、解除できるようなシステムということで、その分どうしてもやりとりがあるので、基本料金が、通常2,000円幾らくらいの基本料金に、それからダイヤル通話料、それから、発報の緊急時

の電話代ということで、この金額に年間大体おおむね合っております。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） なるほど、内容を聞いてね。

今ちょっと、内容を聞く前にそっちに行ったのだけれども、これ、自宅へも3台持っているのだけれども、オールマイティー、24時間体制をやっているというか、発生がいつ起きるかわからないので、オールマイティーでやっているとか、そういうふうに受けているのですか。

○委員長（内藤久歳君） 長田係長。

○建設管理係長（長田 茂君） 電話の発報につきましては、24時間365日です。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） 本当にご苦労さまで、そうやって聞かなくてはわからないしね。

ありがとうございました。頑張ってください。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ないようですが、傍聴人、よろしいですか。

以上で審査を終了します。

これより本委員会に付託されました議案第33号 平成25年度甲斐市下水道事業特別会計予算について、順次、討論、採決を行います。

まず、本案に対する討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより本案について採決します。

お諮りいたします。本案は原案のとおり可決することに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定されました。

なお、委員会報告につきましては、委員長にご一任願います。

ここで暫時休憩し職員の入替えを行いますと同時に、休憩をします。

50分から。

休憩 午後 2時36分

再開 午後 2時49分

○委員長（内藤久歳君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

次に、議案第29号 平成25年度甲斐市簡易水道事業特別会計予算を議題とします。

なお、説明及び質疑は歳入歳出一括で行いたいと思います。

それでは、審査に入ります。歳入歳出一括で当局の説明を求めます。

飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） ご苦労さまです。

それでは、簡易水道事業特別会計予算について説明いたします。

この事業につきましては、敷島地区北部の3地区、清川、睦沢、吉沢ですが、565線に安全・安心・安定した水道水の供給を行っているという事業でございます。

それでは、予算説明書の310、311ページをお願いします。310、311です。よろしいでしょうか。

では、初めに、歳入から説明させていただきます。

第1款分担金及び負担金、1項負担金、目1簡易水道負担金2,702万8,000円のうち、節1加入金8万4,000円、これは新規2件分を想定するものでございます。次に、節2工事負担金でございますが、消防、防災とかにかかります、消火栓の修繕の負担金及び市道下芦沢線改良工事に伴います配水管の布設替え工事の負担金。加えまして、新たに、市道中村中2号線道路側溝改修工事に伴います配水管の布設がえ工事の負担金、あとは県の事業になります。吉沢地内コカゲサン沢砂防工事及び同じく県の事業ですが、漆戸沢砂防工事、それぞれ、移動になります配水管布設がえ工事の負担金であります。新規に3件が入ったということによりまして、2,174万4,000円増額となっております。

次に、第2款使用料及び手数料、1項使用料、簡易水道使用料でございますが1,700万円、これにつきましては、清川145栓、睦沢が265栓、吉沢が155栓、全部で565栓の使用料でございます。

次に、2項手数料、目1簡易水道手数料7万5,000円でございますが、新規加入に伴いま

す、設計審査、完成審査等の手数料及び督促手数料を見込んでございます。

第5款繰入金、1項一般会計繰入金7,039万1,000円でございます。内訳としまして、職員給与繰入金、事務費等繰入金、あと、建設改良費繰入金、公債費というふうになっております。この中で建設改良の繰入金が入っておりますが、それにつきましては、県の工事の関係が計上されてございますので、その分ふえてございます。

あと、事務費等が減っておりますが、これは、平成24年度行いました、検満量水器のメーターの交換にかかります委託料と備品購入費が入った関係でございます。

ページをめくっていただきまして、繰越金は54万円、諸収入、預金利子1,000円、雑入も1,000円見込みまして、歳入合計1億1,499万6,000円でございます。

続きまして、歳出になりますが、歳出については、この予算参考資料のほうで説明させていただきます。

予算参考資料ナンバー7、1ページをお願いいたします。よろしいでしょうか。

第4款の衛生費のところ、環境衛生総務費、ナンバー16の簡易水道事業特別会計繰出金でございますが、これは、先ほど歳入のところの説明いたしましたけれども、職員給与、事務費等建設改良費、公債費にかかります繰出金でございます。

申しわけありませんけれども、この財源内訳、これは間違っております、受けるほうはその他になりますが、出すほうは一般財源になりますので、一般財源のほうで訂正をお願いいたします。

それでは、簡易水道事業特別会計、歳出の説明に入らせていただきます。

第1款事業費、ナンバー1、一般管理関係職員費506万2,000円。その財源内訳としましては、満額職員給与繰入金でございます。職員1名分の給与、手当等でございます。

次に、ナンバー2、一般管理費6,206万3,000円、その他のところでございますが、4,506万1,000円、これにつきましては加入金が8万4,000円、工事負担金が2,694万4,000円、手数料7万5,000円、事務費等繰入金が207万3,000円、建設改良繰入金で1,525万5,000円。一般財源のところですが、これは、使用料と諸収入、合わせまして1,700万2,000円という内容でございます。

事業の概要でございますが、施設の電気料、修繕料、テレメーター、電話回線等々で1,052万6,000円。

あと、水質検査、施設の保守点検等の委託関係、全部で18件ございますが、あわせまして1,469万6,000円。あと、遠方監視システムの更新工事、あと、先ほど負担金のところに出て

まいりましたけれども、配水管の布設がえ工事4路線、あと、吉沢地内でございますが、配水管の布設工事1路線。あと、清川浄水場の関係で、塩素注入装置、あと、電動弁の更新工事、あわせまして、工事請負費3,494万円。これに、量水器の購入、水道協会負担金、補償金等々あわせまして190万1,000円。事業費等をあわせまして、合計しまして6,712万5,000円でございます。

ページをめくっていただきまして、次に、第2項公債費の関係です。

ナンバー1、元金でございます。3,169万4,000円。これは満額公債費繰入金でございます。簡水債5件分の元金でございます。

次に、目2利子でございますが1,567万7,000円。これにつきましても、満額公債費繰入金でございます。同じ簡水債5件分の利子でございます。

予備費につきましては50万円を予定をいたしまして、歳出総額、予算総額1億1,499万6,000円となります。

以上で、簡易水道事業特別会計歳入歳出予算の説明を終わります。

よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 質疑はないようですので、質疑を終了します。

続きまして、次に、所管以外の委員の質疑を受けます。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 1ページです。

先ほどご説明あったのですが、何行目ですか、これ。一般管理費の中で上から配水管布設工事4路線と。これは先ほどご説明になったのだけれども、大体距離的には何メートルくらいの予定でございますか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） それぞれ延長違いますけれども、建設課に関係いたします、下志田線の関係ですか、これにつきましては、延長が60メートル入ってきてございます。

それと、中村中2号線、これも建設課の関係になります。延長30メートル。

あと、コカゲサン沢砂防工事の関係、これにつきましては、県の事業ですが、これが170メートル。

あと、漆戸沢の関係、砂防工事の関係、これも県になりますが、これが42メートルを予定しております。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） その下の配水管布設工事、この1路線を、吉沢のほう。

○上水道課長（飯沼 覚君） 吉沢です。

○委員（三浦進吾君） これはどのくらいですか。

○上水道課長（飯沼 覚君） すみません。細かい資料が今ございませんが。

メートル数でいくと、七、八十メートルだったとも記憶しております。

以上でございます。

○委員（三浦進吾君） わかりました。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） よろしいですね。

ないようですので、以上で審査を終了します。

これより本委員会に付託されました議案第29号 平成25年度甲斐市簡易水道事業特別会計予算について、順次、討論、採決を行います。

まず、本案に対する討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 討論なしと認めます。

これで討論を終了いたします。

これより本案について採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定されました。

なお、委員会報告につきましては、委員長にご一任を願います。

次に、議案第35号 平成25年度甲斐市水道事業会計予算を議題とします。

なお、審議は、初めに予算実施計画について行った後に資金計画等について行います。それでは、審査に入ります。

まず、予算実施計画について説明を求めます。当局の説明をお願いいたします。

猪股上下水道部長。

○上下水道部長（猪股兼幸君） 水道事業については、申しわけございません、お手数かけて悪いのですが、議案集の131ページをお開き願いたいと思います。

業務の予定量とありますので、ちょっとそこら辺の概要をご説明をさせていただきたいと思います。

よろしいでしょうか。131ページです。まあ、見てもらってもいいですけども。

予定数量が書いてございますので、私のほうでまたそこは重複して言いますので、いいと思いますけれども、それでは、始めさせていただきます。

平成25年度の予算編成に当たりまして、甲斐市の水道ビジョンに基づきまして、本市の水道の将来像と、それを実現するための施策として、これまで水道料金の徴収事務や水道施設の運転管理、事務の民間委託、また、漏水調査についても有収率の向上、または経費の節減を図る上からも、今後も継続をしまいたい。さらに、一昨年、東日本大震災に伴いまして、耐震補強等の施工が急務となりまして、特に今年度は基幹管路の耐震化工事の促進及び給水拠点等の整備を重点的に進めまして、災害に強い水道の構築を図ってまいりたいということで、予算編成を行ったところでございます。

この、第2条の業務の予定量につきましては、使用給水栓数は2万2,980栓でございまして、昨年より190栓の増を予定をしているところでございます。

また、年間の給水水量につきましては665万6,400立方メートルを見込んでございまして、昨年度より2万6,635立方メートルの増を予定をしているところでございます。

これは、減水機器の普及等による水需要の減少はあるものの、個々の栓数の増加によるものだというように考えてございます。

また、1日の平均給水水量でございまして、1万8,237立方メートルを見込んでございます。

次に、建設改良事業につきましては、先ほども申し上げましたように、基幹管路の耐震化及び給水拠点の整備等を含め、配水管の整備事業費が4億690万9,000円。

また、竜王配水池の補修工事を初め緊急遮断弁の設置、減圧弁、配水ポンプの更新等を含めた施設の整備事業費が2億6,009万3,000円を予定しておりまして、合計では6億6,700万

2,000円を予定しているところでございます。

以下、収益的収入及び支出、資本的収入及び支出につきましての詳細につきましては、別冊でこれから上水道課長から説明いたしますので、よろしくお願いをしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） それでは続きまして、水道事業会計予算説明書、こちらのほうで説明させていただきます。

別冊になります。薄いほうです。水道事業会計予算説明書。よろしいでしょうか。

それでは、1ページをお願いいたします。

平成25年度甲斐市水道事業会計予算実施計画、この実施計画は、企業としての経営計画でございます。

まず、収益的収入及び支出のうち、収入から幾つかございます。

初めに、第1款水道事業収益は8億946万1,000円を予定するものでございます。内訳としまして、5、1、営業収益のうち、目1給水収益は7億5,570万8,000円、水道料金等の収益でございます。

目2自宅工事収益222万6,000円は、下水道と他からの依頼によります切り回し工事の収益でございます。

その他営業収益4,516万3,000円は、開栓申請手数料及び下水道使用料徴収事務委託料等々を予定するものでございます。

次に、項2営業外収益、目1受取利息270万円は、預金利息を予定するものでございます。

目2他会計補助金190万6,000円は、児童手当及び簡水の事務に対します一般会計からの補助金でございます。

目4雑収益170万2,000円は、竜王源水の販売代金等でございます。

目5消費税還付金2,000円は、あった場合を想定するものでございます。

項3特別利益の中のその他特別利益1,000円も、あった場合を予定するものでございます。

続きまして支出でございますが、予算参考資料ナンバー7により、説明させていただきます。

また、こちらに戻っていただきまして、3ページ、お願いいたします。予算参考資料のナンバー7、3ページでございます。行ったり来たりで申しわけありません。よろしいでしょうか。

それでは、収益的支出、3次予算でございますが、第1款水道事業費用、第1項営業費用

のうちのナンバー 1、原水及び浄水費 1 億5,960万7,000円でございます。この財源内訳、一般財源でございますが、これは水道事業収益でございます。事業の概要でございます。主なものでございますが、水道施設等の運転管理等業務委託、これにつきましては、平成21年の4月から第三者委託ということでお願いをしているところでございます。

その下、これは新になりますが、後ほど出てまいります4次予算のところにも関係いたしますけれども、配水池の補修工事の設計委託でございます。大原、竜王、西八幡、冷間配水池の実設計でございます。

その下も新しいところですが、配水池の不断水清掃点検業務委託、笠石のPCとRC、下今井のRCを予定してございます。

塩川ダムの受水費、これは、峡北の水道企業団から、日当たり950トン受水してございますが、それに係る経費でございます。

水道施設設備修繕の関係でございますが、水源総配水場の関係と、点検検査、不良箇所がありまして、要修繕箇所30カ所ございます。それに係る経費でございます。

次に、ナンバー 2、配水及び給水費 1 億6,829万4,000円、この財源内訳、その他でございますが、一般会計、下水より、児童手当の関係で72万円、消火栓修繕経費、管理費ということで75万6,000円。消防に関する経費90万円。簡水の事務ということで1,100万円、下水道工事の事務費で177万1,000円。これに受託工事の事務費 9 万円、合わせまして 1 億6,304万7,000円ということでございます。

概要でございますが、職員人件費 6 人分、その下に検満量水器の関係もでございます。これにつきましては、計量法で、水道メーターの有効期間が 8 年と定められてございますので、8年で市内を一巡するようにローテーションを組んで毎年行っている内容でございます。

次の漏水等の不良箇所の修繕でございますが、これは検満及び漏水調査等で発見した分の漏水箇所の修繕ということで、平成24年度、127カ所ございました。

次に、路面復旧費ですが、これは大幅にふえておりますが、基幹管路の耐震化工事にかかります、片瀬、西八幡、篠原、大埜、田畑駒沢線ですか、これにかかります、舗装の本復旧工事の経費でございます。

あと、03の受託工事費になります222万6,000円。これについては、受託工事収益でございます。下水道等の切り回し工事関係の費用でございます。

次に、ナンバー 4 の業務及び総係費 1 億4,219万6,000円。これのその他24万円につきましては、一般会計から、児童手当の関係でございます。

これにつきましても、職員の人件費6人分、それと、甲斐のうまい水だよりというのを一昨年から発行してございますが、竜王双葉にかかるところです。ちなみに、敷島地区につきましても、甲府市のほうで水道だよりというのを発行しているはずで。

あと、その下になりますが、料金の収納等業務委託で、「等」が抜けてございまして、現在上記の収納業務、この3月いっぱい終わってしまうわけですが、今回新たに漏水調査と、あと、管路の管理業務、マッピングの関係ですが、これを含めまして採択をする予定でございます。

ページをめくっていただきまして、新しく会計制度の見直し関係の経費と、あとは料金及び会計システム経費関係、これが1,090万5,000円を予定してございます。

ナンバー5の減価償却費1億9,831万5,000円は、有形固定資産減価償却費を費用化したものでございます。

ナンバー6、資産減耗費4,172万3,000円は、固定資産等除却費を費用化したものでございます。

その他営業費用2,000円。あわせまして、営業費用合計しまして7億1,236万3,000円を予定するものでございます。

次に、営業外費用でございます。

ナンバー1の支払利息1,998万5,000円は、財政融資資金12件、公営企業金融公庫が7件、梨北農協縁故債で1件、全部で20件の利子の返済費用でございます。

次の02の災害対策費219万7,000円につきましては、龍王源水の出庫関係、2万4,000本掛ける62.08円でございます。

あと、雑支出としまして1,000円は、あった場合を予定させていただいたものです。

なお、昨年までありました05の消費税につきましても、借受消費税が給水収益等ですが、よりも仮払消費税、建設改良費等ですが、こちらのほうが多くなってしまったということで、納付ではなくなって還付されるということで、この項目は削除してございます。

次に、特別損失の関係で、04で過年度損益修正損79万円でございます。不納欠損及び過年度調定減が漏水減免等でございます。

ナンバー5、その他特別損失1,000円を見込みまして、合計しまして79万1,000円。これに予備費を400万円予定いたしまして、全体といたしまして、収益的支出、水道事業費用に7億3,933万7,000円を予定するものでございます。

次に、4次予算、資本的収入及び支出でございますが、また予算説明書に戻っていただき

まして、3ページをお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、資本的収入及び支出のまず収入からでございます。

第1款資本的収入でございますが、6,847万2,000円を予定いたしまして、項3負担金、目1他会計負担金4,747万2,000円につきましては、下水道工事及び滝坂希望ヶ丘線にかかります、配水管の布設がえ工事及び消火栓設置にかかります工事負担金を予定するものでございます。

項8、加入金につきましては、2,100万円を予定するものでございます。

次に、支出でありますけれども、また予算参考資料ナンバー7に戻っていただきまして、申しわけありません。

6ページをお願いいたします。

それでは、第1款資本的支出、1項建設改良費のうちのナンバー1、建設工事費8,118万7,000円。財源内訳のその他につきましては、消火栓設置にかかります一般会計からの負担金でございます。

一般財源7,818万7,000円、これにつきましては補填財源で対応いたします。

事業の概要でございます。

消防防災課のほうから依頼があります、消火栓設置関係4基の予定でございます。甲府韮崎線、県道ですが、配水管布設工事関係で120メートル分、あと材料支給でございますが、給水管の増口径等の費用でございます。

新しく、新水源の試掘関係が出てまいりましたが、これにつきましては、水道ビジョンのほうで安定した給水の確保というのがございまして、この中で、配水区域の再編というものが、その中で新しく配水池を新設すると。2カ所ですが、そういったことが盛り込まれてございました。それに関する経費でございます。

次に、ナンバー2の改良工事費4億3,307万4,000円。財源内訳のその他のところですが、4,447万2,000円につきましては、下水道工事にかかります配水管の布設がえ工事の負担金。あとは、都市計画課になりますが、滝坂希望ヶ丘線、これにかかります布設がえの負担金でございます。

下水道関連配水管の布設がえ工事は8路線、1,319メートルで予定してございます。

あと、基幹管路、耐震化工事、先ほど部長のほうからも説明がありましたけれども、4配水路ということで1,850メートル、これにつきましては水道ビジョンにのっとりまして、平成20年度から耐震化工事を行っているわけですが、平成24年度末、5か年で進捗率が24.3%

という状況でしたが、さきの東日本大震災もありまして、この耐震化という問題が喫緊の課題になってきたということで、計画の前倒しを図るという中で、今回、ここの部分は見直してございます。平成27年度末までに、進捗率78%を目標にして事業展開を図る予定でございます。

なお、現在まで、平成24年度までには各水源から各配水池、応急給水拠点になると思うのですが、これの送水管、水源から配水池までの送水管、これについては耐震化は終わってございます。

新年度予算で、今度は配水池から重要施設となります指定避難場所、これにかかります配水管の耐震化を予定してございます。今回は片瀬配水池から竜王北中、竜王北小、あとは竜王配水池から竜王中学校、あと、西八幡配水池から玉幡中学校、それに竜王西小の周りの一部、これを耐震化する予定でございます。

その下、重要管路の田畑駒沢線配水管布設替工事、これは今年の続きでございます。あと、国道20号配水管布設がえ工事関係1,000メートル、あと、甲府葦崎線配水管布設ナエ工事関係180メートル。これについては、県道自体を今、拡幅改良されてございますが、今、車道に入っている配水管だと管理ができなくなるということで、歩道のほうに上がって移すということで布設がえ、入っております。

それで、上のほうに出てきました配水管の布設工事ということですが、これについては、今、1路線しか入っておりません。両側に入れるということで、新たに新設するという内容のものでございます。

あと、都市計画課の関係の滝坂希望ヶ丘線の配水管布設がえ工事関係、あと、3条予算の関連で出てきましたけれども、竜王配水池の補修工事の関係でございます。これにつきましては、耐震診断は既に終わってございまして、結果、耐震補強の必要性はないという結論をいただいておりますが、施設が1つしかございませんので、今、延命化をはかるということで、順次、優先順位を定めまして補修工事を行っているところでございます。

既に、片瀬、篠原、万才については、3カ所は終わっておりますので、平成25年度については竜王配水池を予定してございます。

次に、ナンバー3の量水器関係92万円、これにつきましては、量水器253個を見込んでございます。ナンバー4の固定資産購入費1億5,182万6,000円、これには、新水源の用地取得関係、先ほど出ましたけれども、水源の試掘の関係と同じですが、大袋と志田の配水地に2カ所、配水池を新設する計画もございました。それにかかわる経費でございます。

あと、二ツ溜配水池の発電機の設置、竜王東小の緊急遮断弁の更新、三島配水池の緊急遮断弁の設置、竜王新町減圧弁、駒沢の減圧弁更新工事、あと、水源の取水ポンプの更新工事、片瀬、西八幡の水源を予定してございます。

ページが変わりますが、冷間の配水池の配水ポンプの更新、それから、笠石水源取水・送水ポンプの更新、あとは、笠石の配水池水源のテレメータ化の工事を予定してございます。

市内水源23カ所と配水池を17カ所を持ってございまして、取水ポンプが24台、送水ポンプが8台、配水ポンプが25台、合計57台のポンプが現在ございますが、定期的に検査、点検をしておりますが、報告書が上がってくる中で更新の計画を定めまして、それによって順次行っているものでございます。ポンプの耐用年数は15年と言われておりますけれども、取水ポンプについては1台しかございませんので、これは計画的にやっていきますが、配水ポンプにつきましては3台ございますので、壊れるまで使わせていただいております。

ちなみに、日本水道協会の水道施設の更新指針というものがございます。ガイドラインでございまして、ポンプについては平均26年というような数字が出ております。昭和年代に設置されたポンプがまだ15台ほど残っておりますが、こういったものも順次、更新していくという内容のものでございます。合計しまして6億6,700万7,000円、その財源内訳その他につきましては、他会計負担金2,747万2,000円、あと一般財源6億1,953万5,000円、これは補填財源でございまして。

2項企業債償還金でございまして7,770万3,000円、これにつきましては、財政融資資金12件、公営企業の金融公庫7件、縁故債が1件、全部で20件の元金返済費用でございまして。

全体としまして、資本的支出が7億4,471万円に対しまして収入が6,847万2,000円と、他会計負担金と加入金と、資本的収入額が資本的支出額に対しまして不足する額6億7,623万8,000円につきましては、過年度及び当年度分の損益勘定留保資金より2億2,911万4,000円、建設改良の積立金より4億2,000万円及び当年度分の消費税及び地方消費税資本的収支調整額、これで2,712万4,000円で補填するという内容でございまして。

続きまして、予算の説明書にまた戻ってもらって、申しわけございません。4ページをお願いいたします。よろしいでしょうか、こちらでございまして。

平成25年度甲斐市水道事業会計資金計画、この資金計画でございまして、経営活動に伴います資金収支を健全な状態に維持し、予算に対する資金の適正な調達及び運用を図る必要がございまして、予算の審議に当たりまして、その理解を深める資料ということで、この表を提出するものでございまして。

まず、受入資金でございますが、20億225万3,000円を見込んでございます。

1の事業収益につきましては、当年度の収益的収入のうち、現金収入の見込みが7億2,633万4,000円を計上したものでございます。これにつきましては、給水収益3月末見込みの徴収率89%と、受託工事収益、その他営業収益、営業外収益、特別利益を加えた額でございます。

前年度未収金につきましては、当年度における現金収入の予定額でございまして、後ほど出てまいります。予定貸借対照表の17ページの2の(2)の未収金の額8,748万9,000円を計上してございます。

負担金につきましては、当年度内における工事負担金及び加入金の現金収入、6,847万2,000円を予定するものでございます。

隣3ページの、資本的収入の額でございます。

6の前年度繰越金につきましては、また17ページに出てまいります。予定貸借対照表の2の流動資産の(1)現金預金の額11億1,995万8,000円を繰り入れるものでございます。

7の預り金、一時借入金、補助金等は予定しておりません。

これらの受入資金に対しまして、支払資金につきましては12億4,119万8,000円を見込んでございます。

1の事業費、当年度予定額4億7,993万7,000円につきましては、当年度収益的支出から現金支出付与額でございます。減価償却費、資産減耗費等も考慮した現金支出を見込むものでございます。

前年度未払金でございますが、1,490万7,000円につきましては、18ページの予定貸借対照表の4の流動負債の1の未払金を予定してございます。

貯蔵品256万7,000円につきましては、棚卸資産購入限度額でございます。

1款建設改良費6億6,608万4,000円につきましては、建設改良費の現金支払いを見込んだものでございますが、隣3ページの建設改良費から量水器費を引いた額でございます。ロの企業債償還金7,770万3,000円につきましては、企業債借入金の元金の償還見込額でございます。3ページの隣の数字でございます。預り金返済、一時借入金返済は予定してございません。したがって、受入資金から支払資金を差し引いた7億6,105万5,000円が年度末に繰り越される資金の額となり、13ページに出てまいります。予定貸借対照表の2の流動資産の(1)の現金収入と一致するものでございます。

ページをめくっていただきまして、次の5ページから11ページの給与費につきましては、

予算上営業費用に含めて計上してあるため、実施計画上は表示されませんが、内容一覽的に明らかにする必要があることと、相対的に給与費の重要性が高いということから、予算の適正化を図るため、その内訳を明らかにしようとするものであります。

後ほどごらんいただきたいと思います。

12ページをお願いいたします。

債務負担行為に関する調書につきましては、過去、現在、未来の関係を概括的に把握しようとする調書でございます。上の料金収納業務委託、これは、平成24年、この3月で終了になります。水道施設運転管理等業務委託及び水道料金収納等業務委託の債務負担を示してございます。

続きまして、飛んで申しわけございませんが、15ページをお願いいたします。

平成24年度甲斐市水道事業予定損益計算書について説明いたします。

この損益計算書は、企業の経営成績を損益計算の形で表示するもので、平成24年度の決算見込みに基づくものでございます。

なお、地方公営企業会計では、予算決算が税込み経理、損益計算書等の財務諸表につきましては、税抜き処理をするということになってございまして、単位は、今度、円になります。税抜きでございます。

まず、営業収益でございますが、7億7,252万3,106円に対しまして、営業費用6億1,904万2,453円で、営業収益から営業費用を引いた営業利益は1億5,348万653円を予定してございます。

また、営業外収益544万9,225円に対しまして、営業外費用2,662万7,042円、営業利益に営業外収益を加え、営業外費用を引いた経常利益でございますが、1億3,230万2,836円を見込んでございます。

これに、特別利益の予定ありませんので、これに特別損失79万7,142円を差し引いた当年度の純利益でございますが、1億3,150万5,694円、前年度の繰越利益、剰余金ございませんので、当年度未処分利益譲与金も1億3,150万5,694円を予定してございます。

次に、17ページをお願いいたします。

続きまして、平成24年度甲斐市水道事業予定貸借対照表について今ご説明いたします。

この表は、企業の財政状態を明らかにするため、保有する全ての資産及び負債、資本を総合的に表示したもので、平成24年度決算見込みをもとに予定した財務諸表でございます。

初めに、資産の部としまして、固定資産は有形固定資産イからトまででございますが、そ

れに無形固定資産はございませんので、固定資産合計としまして80億9,230万6,950円を予定をしまして、2の流動資産、(1)の現金預金、これは先ほど説明しましたが、4ページの資金計画のところの前年度繰越金の額でございます。これに未収金、同じく資金計画のところでも出ました、4ページ、前年度未収金、これに貯蔵品及び仮払金によりまして、流動資産合計が12億1,696万2,659円を見込みまして、固定資産、流動資産合わせました資産合計93億926万9,609円を予定するものでございます。

次に、18ページの負債の部でございますが、固定負債、引当金、修繕引当金5,860万円、流動負債は未払金、前受金及び扱い金によりまして、流動負債合計4,669万5,136円を見込みまして、固定負債、流動負債を合わせました負債合計1億529万5,136円を予定するものでございます。

次に、資本の部につきましては、資本金、(1)の自己資本金、イ、ロ、ハと、借入資本金によりまして、資本金合計としまして43億4,394万2,948円を予定するものでございます。

剰余金は資本剰余金イからチと利益剰余金によりまして、下から3行目になります。剰余金合計としまして48億6,003万1,525円を見込んでございます。

資本金合計、剰余金合計合わせました資本合計が、92億397万4,473円を予定するものでございまして、負債合計、資本合計合わせました負債資本合計が93億926万9,609円となりまして、先ほど説明いたしました17ページ1番下の数字ですが、資産合計と一致するものでございます。

続きまして、2枚戻っていただきまして、13ページをお願いいたします。申しわけありません。

今度は、平成25年度甲斐市水道事業予定貸借対照表の説明をさせていただきます。

この表は、平成24年度の予定貸借対照表をもとにしまして、平成25年度予算の予定量を見込み反映させた財務諸表でございます。

まず、資産の部としまして、固定資産有形固定資産イからトまでと、無形資産はございませんので、固定資産合計が84億915万9,128円を予定しまして、流動資産は、現金預金ですが、これ、4ページの資金計画との差引額と一致するものでございますが、これに未収金、貯蔵金及び仮払金によりまして、流動資産合計8億5,976万2,330円を見込みまして、固定資産、流動資産合わせた資産合計93億4,992万1,458円を予定するものでございます。

次の14ページの負債の部でございますが、修繕引当金5,860万円、流動負債未払金、前受金及び預かり金によりまして、流動負債合計4,428万4,535円を見込みまして、固定負債、流

動負債をあわせました、負債合計 1 億 288 万 4,535 円を予定するものでございます。

次に、資本の部でございます。

資本金、自己資本金としまして、イ、ロ、ハと借入れ資本金合わせまして、資本金合計としまして 46 億 8,624 万 168 円を予定しております。

これに、剰余金、資本剰余金イからチと、利益剰余金を合わせた、下から 3 行目の剰余金合計 45 億 6,079 万 6,755 円を加えた資本合計は 92 億 4,703 万 6,923 円となりまして、負債合計と資本合計を合わせました負債資本合計を 93 億 4,992 万 1,458 円を予定するものでございまして、13 ページの 1 番下の資産合計の額と一致するものでございます。

なお、参考資料としまして、19 ページに予算構成図と 20 ページに主要事業を添付してございますので、参考にさせていただきたいと思っております。

以上で、説明を終わります。

よろしくお願いをいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対し質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。

質疑はございませんか。

所管の委員さん、頑張ってください。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） では、この説明書の 6 ページの 02、改良工事についてお伺いをいたします。

よろしいですか。

改良工事の中に、基幹管路耐震化とその他の重要管路の工事があるのですが、この 2 つの基幹管路と重要管路とは、どう違うのですか。ちょっと説明をお願いしたいのですけれども。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） これも基幹管路に入る部分ですけれども、昨年度がこういう表記の中で事業を進めておりますので、同じ表記で、もうこれは続き分でございます。平成 24 年度はこういう表記で耐震化工事を行ったという内容でございます。

内容的には、耐震化工事の部分に入る分でございます。

○委員長（内藤久歳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ということは、ただ名前がこれだけでもって、中身というか、使うも

のに対しては全然、工事、そういうのは同じという考え方ですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 昨年度につきましては、水源から配水池にかかります送水管を耐震化を行いまして、その中に、この部分は配水管になります。それで、路線といいますか、内容が違いますので、これについては路線名をつけてあらわしてございますので、基本的には平成25年度行います配水池から指定避難場所につながります配水管、これと同じ分類になるかと思えます。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） わかりました。

その上の、01の建設工事費の中に新水源試掘関係というのを、2カ所ということで6,600万円ですか、ということで、2カ所に工事ではなくて、説明だと手続ということですが、手続でこれだけかかるということですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） そのとおりでございます。

その下のほうにも出てまいりますが、これに水源の用地関係の費用もでございます。

当然この水源を試掘するには、用地を買わないとできない関係がございまして、深さ的には200メートル以上掘らなければならないということで、試掘も、当然、水源ですから、井戸を掘るのと同じになりますが、試掘といいましても、これは本掘に近い内容になるかと思えますが、それで、大袋地内と志田地内、2カ所の配水池を予定してございます。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） では、ページが、ちょっとこれ3ページですけれども、3ページの業務及び総務費という、04にあるところの中に、収納業務委託ということで5,700万円ですか、この今やっているところが、建設経済のだと、今年度で切れて、それで、入札ではなくプロポーザル方式ということで決まったということですか。まだですか。

○上水道課長（飯沼 覚君） 決まりました。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 先ほどの債務負担のところにも若干出てまいりましたけれども、今契約している内容が3月で切れてしまいます。つきましては、4月から新たに業務委託を

締結して、内容的には、先ほども申し上げましたけれども、漏水調査、これと管路の管理業務、これをあわせたもので再委託、プロポーザル方式で再委託してございます。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 業者さんは決まったというところ。お願いします。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） ちなみに、今現在やっております、業者が引き続き4、5をやってもらえるというような内容になりました。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） では、その4ページのコンビニの収納経費関係ということがあるのですけれども、この利用については、コンビニのあれにしてからは約2年たつと思うのですけれども、コンビニのその、反対にもらえるということではないのかと、私の考えだと思うのだけれども、ちょっと。

○上水道課長（飯沼 覚君） 当然、今の案件……。

○委員長（内藤久歳君） ちょっと待ってください。言うてから言うてください。

飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） コンビニの収納経費関係でございますけれども、現在の方式で言いますと、口座振替、これがほとんどでございます。あとは窓口。この中であと、コンビニ収納というものを新たにふやして利用者の利便性の向上を図ったという内容でございます。

では、件数はあちらから説明します。

○委員長（内藤久歳君） 二宮係長。

○上水道総務係長（二宮 仁君） コンビニ収納の経費ですが、1件60円手数料がかかりまして、年間で2万3,000件を予定しております。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

藤田委員。

○委員（藤田 悟君） すみません、ここで聞くことかどうか、ちょっとすみません、申しわけないのですが、龍王源水をつくる経費とは、ここでいいのでしょうか。すみません。

製作、製作というか。

○委員長（内藤久歳君） 二宮係長。

○上水道総務係長（二宮 仁君） 龍王源水の製造ですが、平成25年度予算ですと、1本当たり税抜きで62.08円を予定しております。それで、2万4,000本製造する予定で予算をとっております。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 藤田委員。

○委員（藤田 悟君） 2万4,000本というのは災害対策費になっていますよね、それで、先ほど他会計補助金の売り上げで竜王源水の売り上げが196万円になっているのですが、これはどういうことですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 竜王源水、既にこの1月に2万4,000本製造してございます。その売り上げの部分でございます。ここに出てまいりますのは、平成25年度で製造するほうでございます。

以上でございます。

○委員（藤田 悟君） はい。

○委員長（内藤久歳君） いいですか、ほかにもございますか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 3ページの先ほど藤原委員からもあったのですけれども、04の収納業務委託という中で、マッピングという話が出たのですけれども、先ほど簡易水道のほうでもそのマッピングがあつて、同じ市内の中なののですけれども、そういったものの連動性というか、そういったものはあるのですか。

〔「簡水だったっけ、下水」と呼ぶ者あり〕

○委員（清水正二君） すみません、下水ですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 下水でマッピングの話が出ていたようでございますけれども、うちで管理していますマッピングについては上水の関係のみでございまして、下水は入っておりません。

○委員（清水正二君） 関係ないのですか。

○上水道課長（飯沼 覚君） はい。

〔「それでもう1点」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 02の中に漏水等不良箇所修繕というのがあるのですが、04の中で今業務委託の中で漏水調査ってあるのですが、これは今後とすれば別々になるですね、漏水調査と漏水修繕というのは。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 業務委託の中で今回漏水調査を入れましたけれども、当然これは漏水ですから、早目に発見して早目に修繕するという事で無駄をなくすという目的でこれらをやっているわけですが、委託の中にこれを含めました。修繕については、それに伴いまして発見されたところについては、速やかに修繕を行っていくという内容のもので、関連は当然ございます。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

○委員（清水正二君） はい。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

山本委員。

○委員（山本英俊君） 6ページの04の固定資産購入費で、ポンプの更新工事というのが、3つくらいここ続いているのですが、その場合、それが取水ポンプとか配水ポンプの違いがあるようなのですが、特にこの冷間の5,000万円ですか、そのほかのは大分金額が低いのですが、どんなふうな違いがあるのか、ちょっといいですか、説明していただいて。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 先ほどポンプは全部で57台という説明をさせていただきましたけれども、当然古いものから順に更新をしていくわけですが、ポンプの耐用年数が15年というふうにいわれております。それで、取水ポンプ、水源、井戸に入っているポンプですね、これについては1台しかございませんので、これは年数が来たら計画的に取りかえていく内容でございます。

配水ポンプというのは、各配水池、配水場3台ございまして、順次交互運転をしているわけですが、これは使えるだけ使うということで、壊れた時点で改修をしていくという内容でございます。

費用的にかなり違う内容でございますが、操作盤の関係が、制御盤の関係が当然ついてまいりますので、それに係る経費がかなりかかってしまうということで、こういう金額になってございます。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

山本委員。

○委員（山本英俊君） 今言った、配水ポンプというのは使うだけ使ってということですか、それとも耐用年数が15年というのは、先ほど言っていましたけれども、これは全部のこのポンプですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 一応ポンプの耐用年数は15年と言われておりますが、この取水ポンプについては、途中で壊れてしまつては困るという内容ですので、早目な交換ということをさせていただいております。1台しかございませんから、それがとまってしまいますと水が配れなくなってしまいますので、くみ上げられなくなってしまうので、これだけは定期的にかえていくと。配水ポンプというのは、各配水場3台ございまして、交互運転しております。ですから、壊れるまで使つても、1台壊れても2台残っておりますので、そんなに緊急性は要しないということになります。

ちなみに、先ほども申し上げましたけれども、日本水道協会の水道施設の更新指針というガイドラインがございまして、これのポンプの平均寿命が26年といわれております。うちの施設の中で古いポンプ、昭和時代に入れたものがまだ15台残っておりますが、こういったものは順次交換していくと、更新していくという計画で今、進めております。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかに所管の委員で質疑はございますか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 今の関連ですけれども、では、3ページへ戻つて、この原水及び浄水費の中に配水池補修工事設計委託料というのがあるのですけれども、さっきの説明だと、これが今の言う冷間の設計料という関連というか、かんがみがあるわけですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

関連があるのかどうか、630のところでしょう。

飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） この配水池補修工事の設計委託の関係でしょうか。これにつきましては、配水地の補修工事にかかわります設計委託ということで、今回の竜王の配水池、補修計画がございますが、その分も含めて、大原、西八幡、冷間、これの4カ所の実施設計を計上したものでございます。

○委員（藤原正夫君） わかりました。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 所管の委員さんの質疑をこれで終了いたします。

続きまして、所管以外の委員の質疑を受けます。

米山委員。

○委員（米山 昇君） 二、三、お伺いしますが、こちらの参考資料のほうの5ページの特別損失の不納欠損79万円計上してありますが、何件ぐらいあるのでしょうか。79万円の内訳は。

○委員長（内藤久歳君） 二宮係長。

○上水道総務係長（二宮 仁君） 不納欠損の件ですが、120人、210件程度を見込んでおります。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） そうすると、不納欠損をするということですから、何年か、5年ですか、通常5年が時効というようなことですが、これはどのような形、やっぱり5年以上の不納欠損をされたわけですか。

○委員長（内藤久歳君） 二宮係長。

○上水道総務係長（二宮 仁君） 水道料金は時効が2年ということになっております。それで、私の権利、私権という形になりますので、ここで時効を迎えても直ちに私どもの債権がなくなるということではございません。ですので、一応いわゆる簿外管理をする中で、その分を簿外に移すというイメージになるかと思えます。

ですので、時効は2年を迎えても、それ以降も当然滞納者、滞納なされている方から当時の使用料金をいただくということが可能になっております。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） そうすると、当然水道ですと給水停止とかされるかと思うのですが、通常は税との場合であれば、常に催促をしていれば時効にはひっかからないわけですが、そういうご努力というか、滞納者にはどんなようにされているのでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 二宮係長。

○上水道総務係長（二宮 仁君） 未納の方には、今ご質問の中にもありましたが、給水停止等あります。基本的な考え方としましては、2回分納付がおくれていらっしゃる方、この方々には、給水停止の手続きをとらせていただいています。ですので、まず、該当者に給水停止の予告通知を差し上げております。それで一定期間納入期限を持ちまして、それでも納めていただけない場合には、給水停止をかけていくというふうな形になります。給水停止をかけますと、基本的には未納の分を全額いただくということが前提で給水の再開をいたしますが、それ以外に、当然随時、滞納整理と申しますか、電話催告、それから、おこなっている方々のところへは催告に伺っているというような手続きをとっております。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） そうすると、今回、不納欠損されたのはもうどうにもならないというか、見込みがないと、こういうことですか。

○委員長（内藤久歳君） 二宮係長。

○上水道総務係長（二宮 仁君） 主にアパートにお住いの方なんかが多いかと思いますが、転出をなされる際には、私どもに連絡をいただいて、現地へ行って精算をさせていただいていますが、連絡なしに転居なされてしまう方がいらっしゃいます。どうしても転居先がわからない、水道の場合には住民票がなくても給水はしておりますので、住民票で追うことができないとか、そういうお客様の分になります。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） やむを得ないということで不納欠損されたと思うのですが、ちなみに、今現在で、幾らくらい滞納が、件数とか金額的にあるのでしょうか。

わかるところでいいです。今現在でなくても、昨年、年度末でも。

○委員長（内藤久歳君） 二宮係長。

○上水道総務係長（二宮 仁君） すみません、具体的な数字、最終的な数字というのは、今手元に持っておりませんが、年度の1番最後に納期限を迎える分がありますが、それが、年

度の1番最後の調定分の納期を迎えるのが5月になります。ですので、その5月の時点で未納の額をとりますと、約600万円になります。ただそれが、先ほど、あと2年ほど時効までありますので、それを納める努力をしていただきまして、最終的に平成23年度ですと、不納欠損をした額が40万1,000円という形になりますので、そのくらいになっていくのではないかと思います。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 大変だとは思いますが、まじめに払っている方もいるわけですから、できるだけ徴収についてご努力をお願いしたいと思います。

次に、6ページ、7ページ、こちらの説明のほうは7ページですね、新水源の試掘関係と新水源の用地の取得関係の2カ所ということで盛ってありますが、新しく配水区域の再編をするのだということのようですが、大袋と志田に2カ所求めるとのことですが、これは3,000万円は、何平米ぐらい求める予定ですか、面積は。

○委員長（内藤久歳君） わからないのですか。わからないのだったら、後で調べて報告してください。

[発言する者あり]

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） ただいま資料を持ちあわせてございませんので、後ほど調べてご報告いたします。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） では、面積はいいですが、今この配水区域の再編をするのだということですが、ここで2カ所求めて試掘して、これが6,000万円もかけているわけですから、6,000万円以上ですか、当然それが本掘にもなるのだというような先ほどの説明でしたけれども、両方あわせると1億くらいかけるわけですね、それで、これだけの金額をかけて、再編をするということのメリットというのですか、どういう趣旨でこういうことをされるのか、1億かけるということの理由というか、教えていただきたいです。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 先ほど、1番最初のときに説明させていただきましたけれども、これについては水道ビジョンのほうに盛り込まれている計画でございまして、安定した給水の確保ということも明記してございます。双葉地区の配水池はございますが、規模が皆200

トンくらいの小さいものでございまして、これを大きいものにかえて、配水区もそれによって見直していくというふうな計画が整備されてございます。それにのっとり行っている内容でございます。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） そうすると、2カ所は大体この辺というようなめどはあるのかどうか。それは、もし掘って水が出なかったらということだと事ですので、あらかじめ何かそういう調査とかされて、見込みの上でその場所を決定したのかどうか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 当然、掘って水が出ないということであれば意味がありませんので、24年度、ことしの予算の中で既に予備調査というものを実施してございます。その結果、地下に水脈等がございます。ただ、我々が量的に期待しているほどの量が確保できそうもない結果が出ておりますので、これについては、予算上は計上させていただきますが、水の量が確保できないということであれば、特に意味はございませんので、この辺は再度専門家にこのまま検討していただきまして、計画のほうは進めたいと考えてございます。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 多額の経費がかかるわけですので、無駄にならないというか、効果のあるような形で事業を執行していただきたいと思います。

今、3,000万円用地を求めるとのことのようなのですが、平成24年度と平成25年度ですね、先ほど説明していただいた貸借対照表を見ますと、土地の部分が3,000万円、平成24年から平成25年にふえているだけでなく、ちょっと端数があるのですよね。3億3,078万4,000円から3億6,068万8,000円というのは、17ページと13ページを見比べれば出てきますけれども、この差額というのは何から出たわけですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 細かい資料を持ち合わせてございませんので、ちょっと時間をいただきたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

○委員（米山 昇君） わかりました。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません、水道会計の予算説明書の15ページなのですけれども、損

益計算書の中で、給水収益、これ、7億1,000万円、それで、営業費用のほうで6億1,000万円、それで、最終的に営業利益が1億5,300万円となっているのですけれども、1番大口のルネサスさん、今、その水道料金、年間でどのくらいですか。

○委員長（内藤久歳君） 二宮係長。

○上水道総務係長（二宮 仁君） ルネサスさんですが、今年度の見込みですが、1億1,583万1,000円を見越しております。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） この営業利益を見ると、1億5,300万円のうち、ルネサスさんの水道料の使用料が1億を超しているということだと、実質このルネサスさんがどういう形で、ルネサスさんに対する水道の経費をかけているか、水道局で。その比率があまりないとすると、その1億1,000万円がダウンしたとき、ルネサスさんがね。そうすると、決して甲斐市の水道局は潤えない。今から耐震の問題だとかそういうことを費用をかけるに当たっては、決して水道局は投資にけるお金がなくなっていくという見方がされるのですよね。それに対しては、今後どういう見方をしていくのか。ルネサスさんの景気がぐんぐん上がってそのままで行ければいいけれども、その辺はどういう見方で今後やっていくのか、その辺はいかがですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 当然、ルネサスに関しましては、うちの収益の17%くらいを占めている内容でして、当然つぶれてもらっては困る企業でございます、さきに、この4月から体制を変えるようなことの話聞いてございますけれども、とりあえず今ある甲府の工場、この部分については現状のまま残るといふような話を聞いてございます。当然これが規模の縮小なり、どこかへ再編されるような話になれば、どうしても大事ですので、今はこの辺の情報はつかんでおきたいと考えております。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） もう1点だけ、すみません。

○委員長（内藤久歳君） はい、どうぞ。

○委員（猪股尚彦君） では、ルネサスさんで扱っている水道に関する経費的なものは、その売り上げに対して、1億1,000万円に対しての経費というのは、特別多くかかっているのかどうなのか。いかがなのですか、見方は。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 経費のほうはかかっておりませんが、施設をつくるについてですね、経費をかけてございますが、その辺の部分が単価のほうに反映されてございます。

以上でございます。

○委員（猪股尚彦君） わかりました。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 先ほどの取水、井戸を掘るということの中で、原水、浄水費ということで、3ページの01がございまして。その4段目に塩川ダム受水費という費用がございましてね、日量950立方、これは先ほどの井戸を掘る、大袋、志田ということで予算を盛っておりますけれども、この塩川ダムの受水量のこれ以上に量をふやすと。あるいは塩川ダムと広域等で調査をして、その辺は回答をもらってからの決断でしたのですか。ちょっとその辺をお聞きしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） この塩川ダムの受水の関係でございまして、これは、旧双葉時代ですか、これの峡北水道企業団のほうから受水を受けているわけでございますが、これは、双葉時代に日量950トン、最初は少なかったようではございますけれども、今は950トンになっておりますが、これは申し込みの中で契約をすると定められてございます。先ほど、申しました配水池の新設の関係でございまして、それとはまた別の話でございまして、双葉にある配水池が小さい、200トンクラスが多いということで、これをまとめて大きな配水池、2,000トンとかそういったクラスの配水池をつくって、その分をカバーしていこうという内容のものでございまして、塩川ダムの関係とは、若干違います。

申しわけありません。配水池の大きさでございまして、志田が1,200、大袋が1,800と、これを予定してございます。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） なぜその話をするかというのと、旧双葉には10本ばかり井戸がございまして、それで、水深大体150メートルとか200メートルくらい水深にしているのです。それからポンプアップしているのです。

そういうことの中で、塩川広域、広域のほうのダムですね、まだ水が大変余裕があるというふうには伺っているのですけれども、そういう中で、私がいろいろ、例えば地下水の問題は、

枯渇する場合もございます。それで今、こんなに大量の、例えばの話をすれば、今の井戸が枯渇する場合も、あるいは水量が下がる場合もございます。

そういうことの中で、広域の塩川ダムの水を950から例えばその倍とかという、この交渉をしていただいたかと、あるいはそういうことの打ち合わせをしたかどうか、ちょっとお伺いしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 猪股部長。

○上下水道部長（猪股兼幸君） 塩川ダムの関係で、委員さんのほうから950トンの倍とかなんと言いますけれども、当初双葉町が申し込んだ水量が日量950トンと。それに合わせた管が双葉まで来ているということですから、950トンを日量を超えても、1,000か1,000ちょっとくらいしか水の量は日量来ないだろうと。

それで、もちろん、先ほど課長がご説明しましたように、志田と大垓といいますと、塩川ダムは甲斐市の一番北から入っているわけであって、そういう中で水道ビジョンをつくりました。だからもちろんその塩川ダムの水ももちろん入れた中で、要するに、旧塩崎、旧双葉のところへ1つずつ大きいものを持って、なおかつそれも含めた中でその容量の配水場、それで今、言ったように9本ボーリングがございますので、そのボーリングもいつ枯れるかわからないなんていう話なのですけれども、私どもも、経費的には9本を使うよりも2つの水源でやって、それで間に合えば経費的にも助かるだろうし、将来のことを考えれば、そのほうがより安定した水が得られるというような関係の中で水道ビジョンをつくってきたという状況でございますので、一度その辺を考慮していただきたいなと思います。

○委員長（内藤久歳君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） わかりました。

ちょっと別の件で質問させていただきます。

02、配水及び給水費ということで、職員人件費が施設管理、工務係職員ということで6人分で4,700万円と。それともう1つ、04で受託工事費、この下水道の中、業務及び総務係職員人件費、部長、課長、総務係職員入れて6人分で4,900万円と、約200万そこそこ差があるのは、これは施設管理公務……。

〔「部長がいるから」と呼ぶ者あり〕

○委員（三浦進吾君） いやいや、部長がいるから高いのは当然ですけれども、同じ6人分で、そんなに給料が変わらないのですけれども、その辺は何か別の手当とかあるわけですか。ちょっとお聞きしたいと思います。

〔「年齢が上だから、年に関係して……」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 二宮係長。

○上水道総務係長（二宮 仁君） 予算説明書の9ページに、級別の標準的な職務内容という形で、企業職の級別が書いてございます。

それで、業務及び総係のほうでは、部長、課長、それから5級の係長1名、4級副主幹が1名、3級が1名、それから技能労務職ということで事務員さんが1人ということですので、業務及び総係のほうがそういう意味ですと、人数はほぼ同じですが、若干級の低い職員というふうな形になりますので、このくらいの差額になってしまうかと思います。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） よくわかりました。ありがとうございました。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 耐震化の計画で、平成27年度末で78%という計画だと、さっき話がありましたけれども、平成25年度末ではどのくらいの予定か、確認したいのですが。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 耐震化の関係で、平成25年度末の予定でございますが、24が24.3%という説明をさせていただきましたけれども、13.5%アップの37.8%を予定してございます。

○委員（松井 豊君） ありがとうございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） すみません、今のところなのですが、今年度、平成25年度は一応竜王中心にやっていくということで、水源から配水池までは終わったと、それで今度は配水池からの避難所までの特に大きい公共のところまでという話ですが、最終的に78%というのは、その地域的に見て、例えば竜王の次は例えば平成26年度は敷島とか、そういうふうに計画というのはどんなふうに。各地域とも、各地区とも78%を目指すのですか。どんなふうに。78%というのがよくわからないのですが。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 全体を通しまして78%という数字が出てございます。水道ですから、甲府の部分はできませんので、竜王、双葉だけでございます。

敷島分については甲府になりますので、うちのほうでは手は出せませんので。あと78%の数字でございますが、田敷線の関係です。これに布設する部分がございます。これについては、国道20号の交差点とか今から発生する部分がございます、今現在ではできない部分でございまして、やれるところについて約8割近くはやってしまいたいという計画で、今進んでいるという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

名取委員。

○委員（名取國土君） では、すみません、教えてもらいたいのですが、3ページの、先ほどのご質問がありましたけれども、漏水等不良箇所修繕ということで127カ所と。そうですか。

○委員長（内藤久歳君） 答弁してください。

飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 漏水等の不良箇所の修繕でございますが、平成24年度で127カ所修繕を行ってございます。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

名取委員。

○委員（名取國土君） 127カ所。これは恐らく調べて出たと思うのだけれども、水量にしてはどのくらいの量なのか。

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 決算書を持っておりませんので、数字的にはわかりにくい……。

○委員（名取國土君） では、いいです、また後でね。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） こんな漏水が出ている水の量を知りたかったというのは、結局、水はただだけれども、金額にしてみればなんていうことになれば、その金額を知りたかったのです。それで、127カ所と、安易に、簡単に言っているけれども、これはすごい工事のあれだ

と思うのです。だから、こういうところはどんどん直すことをしていかないと、お金を捨てているのと同じですよ。どうですか、そこのところは。課長。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） そのために、先ほどから説明をしておりますけれども、漏水調査、専門業者に調査をしていただいて、漏水を早目に発見して、早目に修繕をするということで今進んでございます。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） いいですか。

○委員（名取國土君） ぜひ、急いでお願いします。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） もう1つ言います。

その下の04ですけれども、甲斐のうまい水だより経費と振ってあるのだけれども、これは、広報に載せる以外にまた別につくっているのですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 水道事業は企業会計でございまして、基本的に市長のほうから、広報紙は使うなど、自力でやりなさいというふうに指示を受けているものでございまして、要は、一般会計のほうにおんぶするのではないよということで、水道は独自に自分たちでやりなさいということで、甲斐のうまい水だより、こういったものをつくってございます。だから、広報に載せられないものは、これで周知するというところでございます。

ちなみに、これがあるのは竜王と双葉分だけです。先ほど申しましたように、敷島分につきましては、甲府市が水道だよりというものを配布してございますので。そういう内容でございまして。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） これ、聞いたのは、水の宣伝をしているということはわかるのだけれども、甲斐市でもやっぱりうまい水出ているのだから、市民にもっと買ってもらって、というのは、結構買っているのです、水を。聞けばね、それで、甲斐市でもうまくこうして、こうやって出してくれれば使いたいという情報もあるし、そういう面にも力を入れていけば、今から水は伸びるのではないかと思って、これをもし宣伝とかあるのであればということで聞いたのですけれども、その辺はどうなのですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 梨大の調査の中でも、甲斐市の水は硬度70で、一般に飲みやすい水だというようなお示しをもらっております。当然うまい水ということで、甲斐市のうまい水だよりの中でもPRをさせてもらっております。ただ、今回、1月につくりましたのは、若干リニューアルしまして、文字も大きくしたり、ペットボトルですから、改良した部分もございますので、ホームページとかそういったものでもPRしてございますので、積極的にお使いいただけるようにPRしていきたいと思っております。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

名取委員。

○委員（名取國土君） すみません、では、あと1つ、6ページで、04で発電機設置工事費とあるのですけれども、これは、取りかえですか、それとも新設であるのですか。

○委員長（内藤久歳君） ちょっと聞き取りにくいので、再度もう1回言ってください。聞き取れないです。

○委員（名取國土君） 04に発電機設置工事とあるのですよ、6ページ、二ツ溜配水池の。これは、新設でやるのですか、それとも、やってあるのを取りかえるのですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） この二ツ溜につきましては、発電機がございませんので新設でございませぬ。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） では、発電機だけのこれでもって1,500万円ですか。それは配電盤とかそういうのも全部ひっくるめてですか。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼課長。

○上水道課長（飯沼 覚君） 当然、全部含めた金額です。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

○委員（名取國土君） はい、わかりました。

○委員長（内藤久歳君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 傍聴議員はよろしいですか。

以上で審査を終了します。

これより本委員会に付託されました議案第35号 平成25年度甲斐市水道事業会計予算について、順次、討論、採決を行います。

まず、本案に対する討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより本案について採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決するものと決定されました。

なお、委員会報告につきましては、委員長にご一任願います。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は全て終了しました。

委員各位におかれましては、延べ6日間にわたる慎重審査、まことにご苦労さまでした。

---

○委員長（内藤久歳君） 以上をもちまして、予算審査特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 4時30分